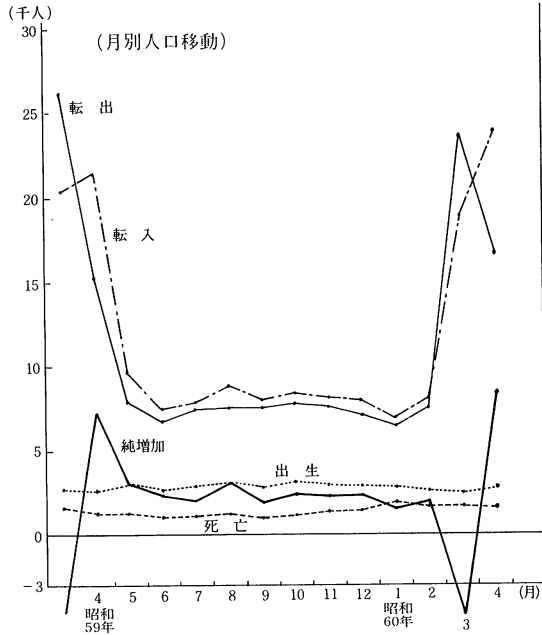


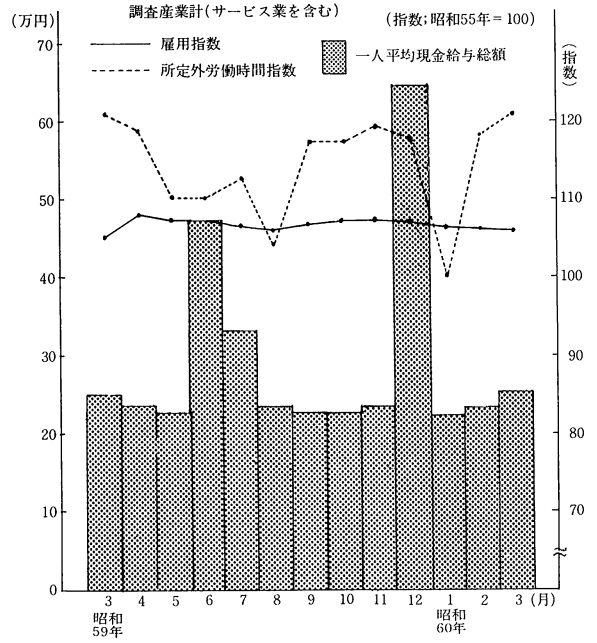
● 今月の主な動き

今月の主な動き

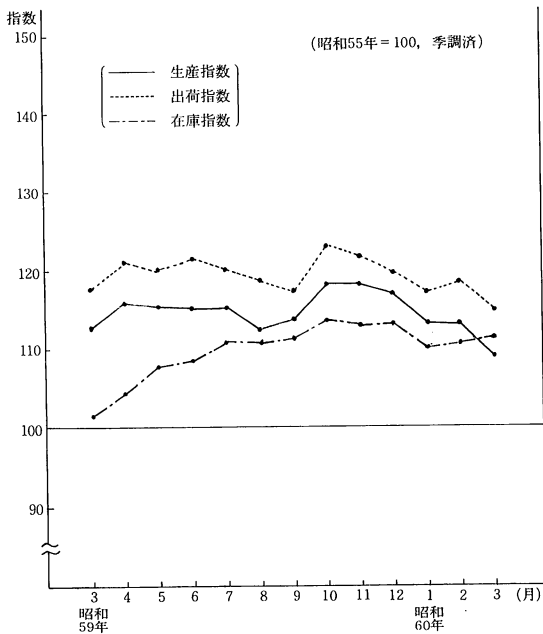
人 口



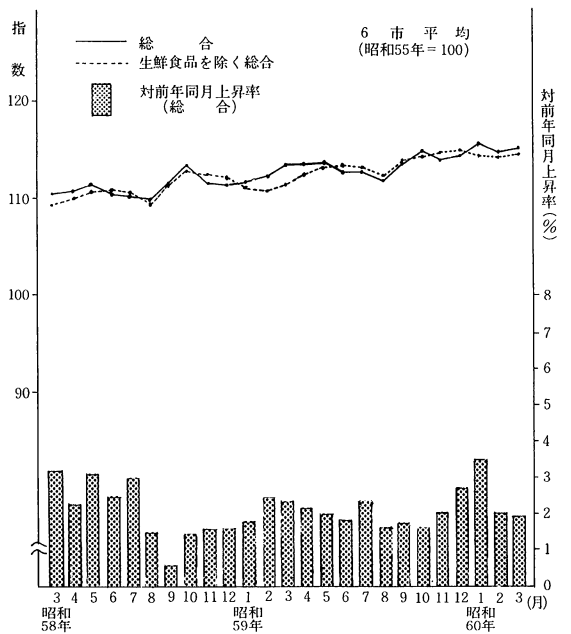
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人口(5月1日)

本県の人口は、4月中に8,324人増加し、5月1日現在で2,704,910人になった。昨年5月1日と比較すると、27,178人(1.01%)の増加である。

内訳は、自然動態で1,227人(出生2,641人、死亡1,414人)、社会動態で7,097人(転入23,614人、転出16,517人)、それぞれ増加した。

例年のとおり、転勤、学生の入学等の移動による転入増が目立ち、県南地域で、県全体の増加の半数を超える4,922人が増加した。

市町村別では、増加が18市53町村、減少が21町村であった。世帯数についても、6,817世帯増加し、757,222世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用(3月)

1. 平均賃金の推移

3月の常用労働者1人1ヶ月平均現金給与総額は250,594円で前月に比べ11.0%増(前年同月比3.7%増)であった。

このうちきまって支給する給与は221,101円で前月に比べ0.9%減(前年同月比3.1%増)であり、特別に支払われた給与は29,493円で前年同月に比べ2,319円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は175.2時間で、前月に比べ2.0%減(前年同月比2.1%減)であった。

このうち所定内労働時間数は156.4時間で、前月に比べ2.5%減(前年同月比2.4%減)であり、所定外労働時間数は18.8時間で、前月に比べ2.7%増(前年同月比0.6%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、105.6で、前月に比べ0.3ポイント減、前年同月に比べ0.7ポイント増であった。

■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(3月)

本県における昭和60年3月の「鉱工業指数」(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が109.5、出荷が114.7、在庫が110.7で、前月比は、生産が△2.9%、出荷が△3.2%の低下、在庫が0.4%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が△2.5%、出荷が△2.5%の低下、在庫が9.2%の上昇であった。

生産を業種別にみると、鉄鋼業、パルプ・紙・紙加工品、鉱業等が上昇し、電気機械、精密機械等が低下した。

出荷を業種別にみると、鉄鋼業、鉱業、窯業・土石製品

等が上昇し、電気機械、石油・石炭製品等が低下した。

在庫を業種別にみると、石油・石炭製品、輸送機械、パルプ・紙・紙加工品等が上昇し、鉱業、木材・木製品等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、非耐久消費財等が上昇し、資本財、耐久消費財等が低下した。出荷では、鉱工業用生産財等が上昇し、資本財、耐久消費財等が低下した。在庫では、耐久消費財、資本財等が上昇し、その他用生産財等が低下した。

■消費者物価指数(3月)

昭和60年3月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で115.4(昭和55年=100)となり、前月比(+0.5%)、対前年同月比(+1.9%)の上昇となった。

今月上がった主な項目……衣料(+5.8%)、生地・他の被服類(+4.8%)、保健医療サービス(+4.1%)、野菜・海草(+3.7%)

今月下がった主な項目……乳卵類(-2.1%)、履き物類(-1.7%)

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	115.4	0.5	1.9	保健医療	116.6	2.6	7.6
食料	117.0	0.3	0.1	交通通信	109.1	0.3	2.3
住居	115.2	0.2	2.1	教育	134.4	0.0	5.2
光熱・水道	108.5	0.0	0.1	教養娯楽	116.5	0.9	1.5
家具・家事用品	109.5	-0.5	4.6	諸雑費	114.0	-0.1	1.4
被服及び履き物	114.7	3.1	5.9	生鮮食品を除く総合	114.9	0.5	2.7